

宣

言

我々の故郷である択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島は、父祖伝来の地として受け継いできた我が国固有の領土である。

我々元島民は、ソ連の不法占拠によって、生まれ育った島々を強制的に追われた。以来、元島民とその後継者が一体となって北方四島の早期一括返還を訴え、北方領土返還要求運動に取り組んできた。

我々は、未だに自由に故郷を訪れることができない。約一万七千人の元島民は、既に一万一千人以上の方々が他界しており、存命の方もその平均年齢は八十四歳を超えている。

領土問題の解決にこれ以上の歳月を費やすことは許されない。

昨年十一月、日露首脳会談によって平和条約交渉の加速が合意されたものの、その後の外交交渉においては、領土問題解決に向けた具体的な進展が見られていない。

我々は、政府に対し、強力な外交交渉を進めることにより、領土問題の解決に向けた具体的な成果を挙げ、一日も早い北方四島の返還が実現することを強く求める。

元島民と後継者で組織する当連盟は、北方四島すべての返還を願い、最も望ましい解決の姿を示すため、昭和三十三年の設立以来「北方領土の早期一括返還」をスローガンに活動してきた。

今後とも、元島民と後継者の総意をもって、このスローガンのもと、北方領土返還要求運動に邁進することを誓い、右宣言する。

令和元年五月二十七日

公益社団法人千島齒舞諸島居住者連盟 令和元年度 通常総会